

福島県立医科大学神経内科学講座 教授 宇川義一

私は6月に日本の数カ所と外国の学会に参加する機会があり、個人線量計による自分自身の測定を行った。個人線量計をベルトにつけて、私個人が行動したときに受けた外部からの線量の測定である。多くの時間を大学のビルの中で過ごすと言う条件であり、他の地域でも学会の会場にいるという条件での測定であり、一般の人すべての代表でもないため、この値から何か確実な事を言えないと考えるが、私と同じような生活パターンの方が生活の中で曝露される放射線量は推定できるデータと考え、印象だけを以下に示す。

おおざっぱにまとめると、屋外の放射線量は福島の大学の中でも、確かに他より高く、特に雨の時に上がる傾向がある。しかし、部屋のなかでは、福島・東京・名古屋とも大きな差はない。地下鉄の駅など、地下に入ると確かに確実に低い傾向がある。外国との比較では、カナダのトロント、ハリファックスに関しては、おおむね東京と変わらないデータである。ローマは屋外の値も高く、一日の積算量もむしろ高いと判明した。この事実は、良く知られている事のように、日差しが強く、火山が多い事などが関連していると思われる。更に、よく知られている事実であるが、地上高い所では値が高く、10時間程度の海外へのフライトでは、20から30マイクロシーベルトの積算がされる。実際機内で測定した範囲では、上空で安定飛行に入った機内の値は、一時間あたり2.5マイクロシーベルト位である。以下のページに線量のまとめと、私自身のこの一ヶ月半くらいの間の、一日の積算線量の図を示す。

最初に述べた様に、この値1つから何か結論を出す訳ではなく、皆さんの参考になれば幸いです。放射線被曝に関して心配なのに、無理に福島に来て問題ない等と言うつもりは毛頭なく、1つの参考値のつもりである。

## Different sites (uSiv/h)

<b>Fukushima</b>	<b>my room (5F)</b>	<b>0.1</b>
	<b>room (B1)</b>	<b>0.05</b>
	<b>out door (1F)</b>	<b>0.3</b>
	<b>out door (1F) rain</b>	<b>0.6-0.8</b>
<b>Tokyo</b>	<b>room (1F)</b>	<b>0.1</b>
	<b>out door (1F)</b>	<b>0.15</b>
	<b>underground</b>	<b>0.05</b>
	<b>in the building</b>	<b>0.08</b>
<b>Nagoya</b>	<b>room (1F)</b>	<b>0.1</b>
	<b>out door (1F)</b>	<b>0.1-0.15</b>
<b>Toronto</b>		<b>0.06-0.15</b>
<b>Halifax</b>		<b>0.08-0.25</b>
<b>Rome</b>		<b>0.1-0.5</b>

## Daily accumulation (uSiv/day)

<b>Fukushima</b>	<b>3-4</b>
<b>Tokyo</b>	<b>2-3</b>
<b>Nagoya</b>	<b>2-4</b>
<b>Toronto</b>	<b>2-3</b>
<b>Halifax</b>	<b>2-3</b>
<b>Rome</b>	<b>3-5</b>

**International flight for about 10 hours 20-30**

